

基本目標 3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
3-1 地域での見守りと声がけネットワークづくり

①防犯体制の強化・地域安全活動の推進

66	防犯体制整備事業	担当課	交通防犯課
事業概要及び今後の方向性			
防犯体制整備事業は、自主防犯団体と連携し子どもの見守り活動、防犯活動を行うとともに、青色回転灯車による防犯パトロールを実施するものです。 今後も、引き続き自主防犯団体について加入を促進します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
自主防犯団体登録数		182団体	198団体（全自治会）
目標値の根拠		全自治会が自主防犯団体へ加入し、活動することを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
192団体	176団体	91.7%	A
実施予定内容	《令和4年度目標値設定の考え方》団体数については、目標値（令和6年度）から算出しました。 《令和4年度の実施予定》 ・4～5月にかけて、既存の自主防犯団体や未加入の自治会あて申請書を送付し、登録の働きかけを実施します。 ・自主防犯活動団体の中から青色回転灯車でのパトロールを行う団体の募集を実施します。 ・市公式ホームページ、広報かすかべでの募集も行います。		
実施内容	・4～5月にかけて、既存の自主防犯団体や未加入の自治会あて申請書を送付し、登録の働きかけを実施しました。 ・市公式ホームページで自主防犯団体の加入について周知しました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	978 千円	決算額 926,939 円

67	防犯システム設置事業	担当課	交通防犯課
事業概要及び今後の方向性			
防犯システム設置事業は、街頭防犯カメラの適正な維持管理及び新規の街頭防犯カメラの設置を検討するものです。 通学路における街頭防犯カメラ設置予定は、令和元年度から令和4年度までの4年間で、市内22小学校及び義務教育学校1校の通学路（学校区）に、概ね2台ずつ（合計48台）設置していきます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
犯罪率（人口千人あたりの刑法犯認知件数）		10.2件	8.7件
目標値の根拠		実績を踏まえ、10%減らすことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
9.3件	6.5件	143.1%	A
実施予定内容	《令和4年度目標値設定の考え方》令和3年の犯罪率については、6.8(令和2年：7.1)と大幅に減少しましたが、第2次春日部市総合振興計画の目標値を参考に設定しました。 《令和4年度の実施予定》設置済みの街頭防犯カメラ(78台)の清掃点検作業を依頼し、維持管理を行います。		
実施内容	令和3年度末までに設置済みの街頭防犯カメラ(78台)の清掃点検作業を依頼し、維持管理を実施した。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	3,465 千円	決算額 2,585,000 円

基本目標 3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
3-1 地域での見守りと声がけネットワークづくり

①防犯体制の強化・地域安全活動の推進

68	うごく子ども110番				担当課	学校総務課	
事業概要及び今後の方向性							
うごく子ども110番は、児童・生徒の安全な登下校を確保することを目的とし、関係機関の公用車などに「うごく子ども110番」のステッカーを貼ることで、子どもたちの不測の事態に備え、緊急の連絡や避難できる場所を確保するものです。 今後も、引き続き関係機関や協力団体と連携し、「うごく子ども110番」活動の認識を高めます。							
指標				現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
—				—		—	
目標値の根拠				—			
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価	
—		—		—		—	
実施予定内容		関係機関や協力団体と連携し、「うごく子ども110番」活動の認識を高めるため、「うごく子ども110番」のマグネットシート・ステッカーを作成し、関係機関や協力団体の車両に貼り、活動の推進、啓発に努めます。					
実施内容		うごく子ども110番のマグネットシートを作成し、春日部市役所の公用車25台にマグネットシートを添付してもらうよう依頼しました。（作成枚数：50枚）					
予算/決算		令和4年度					
		予算額	55	千円	決算額	49,500	円

69	学校警察連絡協議会	担当課	指導課
事業概要及び今後の方向性			
学校警察連絡協議会は、子どもを犯罪の被害から守るため、情報交換・共通理解など、関係機関との連携を図るものです。 今後も、引き続き関係機関や地域、学校が連携の強化を図り、充実に努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
講演会参加人数		169人	300人
目標値の根拠		地域、保護者、学校の連携強化を図るため、会の内容の充実、周知・広報に努め年間20人ほど増やすことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
100人	—	—	—
実施予定内容	「青少年健全育成地域の集い」を実施します。小・中・義務教育学校及び高等学校の教職員、保護者、地域の方に参加いただき、実践発表や講演により青少年の健全育成を図ります。		
実施内容	令和4年度も全体が集まって行う集会は実施できなかったが、小学校・中学校・高等学校の実践事例の発表や講師による講演を動画配信した。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	119千円	決算額70,920円

基本目標 3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
3-1 地域での見守りと声がけネットワークづくり

①防犯体制の強化・地域安全活動の推進

70	防犯教室・防犯研修会	担当課	指導課
事業概要及び今後の方向性			
防犯教室・防犯研修会、非行防止教室は、児童生徒が犯罪の被害に遭わないようにするため実施するものです。 今後も、外部講師を招いて実施するなど、各学校の工夫により内容の充実を図ります。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
防犯教室・防犯研修会または非行防止教室の実施		37校全校で実施	34校全校で実施
目標値の根拠		引き続き市内小中学校・義務教育学校34校全校での実施を目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
34校	34校	100.0%	A
実施予定内容	各校の実態に応じて関係機関から講師を招いたり、動画を活用したりしながら防犯教室や非行防止教室等を市内全小・中・義務教育学校において実施します。		
実施内容	各校の実態に応じて関係機関から講師を招いたり、動画を活用したりしながら防犯教室や非行防止教室等を市内小・中・義務教育学校において実施した。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

71	非行防止パトロール	担当課	こども政策課
事業概要及び今後の方向性			
非行防止パトロールは、年間を通した非行防止パトロールを各地区の補導会・育成会等に委託して実施するものです。 今後も、各地区の実状に合わせて、パトロール活動の充実を図ります。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
パトロールの実施回数		1,070回	1,100回
目標値の根拠		これまでの実績から現状値を維持していくことを、目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
1,100回	679回	61.7%	B
実施予定内容	市内8地区の補導会・育成会等と委託契約を行います。		
実施内容	新型コロナウイルス感染状況を鑑みつつ、パトロール活動を各地域の状況に合わせて、中止または自粛（規模縮小）しながら実施しました。 ・年679回 延べ1,841人		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	805 千円	決算額 804,735 円

基本目標 3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
3-1 地域での見守りと声がけネットワークづくり

①防犯体制の強化・地域安全活動の推進

72	防犯パトロール	担当課	社会教育課
事業概要及び今後の方向性			
防犯パトロールは、各小中学校・義務教育学校のPTAにおいて、自転車などへのプレートの掲示による、犯罪抑止活動を行うものです。 現在、市内の小中学校・義務教育学校のPTAで実施されており、今後も、引き続き活動の継続を支援します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	市内小中学校・義務教育学校のPTAが実施する防犯パトロールにおける自転車等に貼るステッカー配布を行う等の活動を支援することで、子ども達の安心・安全を確保します。		
実施内容	登下校時に児童・生徒の安全を見守る単位PTAの安全活動を支援するため、春日部市PTA連合会が主体となり、市内各小・中・義務教育学校内へのポスター掲示及び児童・生徒へのチラシ配布を実施しました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	—	千円 決算額 — 円

73	こどもかけこみ110番	担当課	社会教育課
事業概要及び今後の方向性			
こどもかけこみ110番は、店舗や一般家庭などにプレートの設置を依頼し、子ども達が事件などに遭遇した際に、駆け込んで助けを求めることができる場を確保するものです。 今後も、引き続き地域や関係機関、協力団体と連携し、「こどもかけこみ110番」活動の継続を支援します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
プレート設置か所数		1,243か所	1,245か所
目標値の根拠		地域全体で子どもたちの安全を見守る場を確保できるよう、現状維持を目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
1,183か所	1,072か所	90.6%	A
実施予定内容	こどもかけこみ110番プレートの継続設置及び新規設置の依頼を行うことにより、子ども達が事件などに遭遇した時に助けを求めることができる場を確保します。		
実施内容	春日部市PTA連合会を通じて、こどもかけこみ110番の家プレートの継続設置及び新規設置の依頼を実施しました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	—	千円 決算額 — 円

基本目標 3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
3-1 地域での見守りと声がけネットワークづくり

①防犯体制の強化・地域安全活動の推進

74	通学路における街頭防犯カメラ設置事業				担当課	交通防犯課	
事業概要及び今後の方向性							
交通防犯課、春日部警察署及び教育委員会と通学路合同点検を実施し、危険箇所の抽出を行いました。また、防犯カメラの維持管理・更新経費、画像抽出作業、本事業の継続性等を踏まえ、市内22小学校及び義務教育学校1校の通学路（学校区）に、概ね2台ずつ設置していきます。 ※なお、事業開始時における防犯カメラの設置目標台数は、46台としましたが、現在は48台を目標値として事業を実施してまいります。							
指標				現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
通学路における街頭防犯カメラ設置台数				0台		46台	
目標値の根拠				概ね各校の通学路（学校区）に2台（合計46台）設置することを目標とします。			
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価	
48台		48台		100.0%		A	
実施予定内容		《令和4年度目標値設定の考え方》令和4年度までに設置する予定から算出しました。 令和元年度に6箇所6台、令和2年度に14箇所16台、令和3年度に13箇所13台を設置済みです。 《令和4年度の実績予定》令和4年度は、通学路に13箇所13台の街頭防犯カメラを設置する予定です。					
実施内容		令和3年に選定した13箇所に通学路における街頭防犯カメラ13台を設置しました。					
予算/決算		令和4年度					
		予算額		1,353	千円	決算額	

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-2 生きる力を育む教育環境の整備

①みんなで支える次世代の親づくり

75	地域とのふれあい	担当課	保育課
事業概要及び今後の方向性			
地域とのふれあいは、保育所（園）において、園庭を開放することにより、地域の子どもや親たちに、他の子どもとのふれあいを通し、子育て支援を実施するものです。また、地域の人を対象に講演会を開催するものです。 今後も、引き続きあらゆる機会を活用して、地域との連携を図ります。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
参加人数		10,885人	11,000人
目標値の根拠		毎年度、20人程度の参加人数を増やすことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
11,000人	8,200人	74.5%	B
実施予定内容	民間保育園の園庭開放や保育施設等地域活動事業において、子育てに関する知識や経験を豊富に有した保育士が育児講座などを実施します。		
実施内容	民間保育園では園庭開放や保育施設等地域活動事業による地域の子育て家庭への育児講座などを実施しました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

76	中学生社会体験チャレンジ事業	担当課	指導課
事業概要及び今後の方向性			
中学生社会体験チャレンジ事業は、市内中学1年生（義務教育学校後期課程1年生を含む）を対象に、望ましい職業観や勤労観を育て、社会性や自立心を養うため、市内事業所において3日間の社会体験活動を行うものです。 今後も、受入れ事業所と連携し、生徒一人ひとりが目的を達成できるよう、事業の充実に努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
市内全中学校・義務教育学校12校の実施		13校	12校
目標値の根拠		引き続き市内中学校・義務教育学校12校全校での実施を目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
12校	—	—	—
実施予定内容	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体験事業は実施しませんが、各学校にて地域の方をお招きするなど、社会の一員としての自覚を持たせる工夫ある授業を展開します。		
実施内容	令和4年度も体験事業は実施せず、各学校での取組を支援。またコロナ禍の影響により、今後も市内で一斉に本事業を実施することは困難と判断し、本事業は終結となる。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	1,125 千円	決算額 0 円

基本目標３ 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり ３－２ 生きる力を育む教育環境の整備

②確かな学力の向上

77	少人数指導	担当課	指導課
事業概要及び今後の方向性			
少人数指導は、児童生徒や学校の実態を踏まえ、一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実を図るものです。 今後も、個に応じた指導の充実を図り、着実に児童生徒一人ひとりの学力を向上させるため工夫・改善を図ります。			
指標		現状値（平成３０年度）	目標値（令和６年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和４年度目標値	令和４年度実績値	令和４年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	児童生徒の実態に合わせた少人数指導を実施します。		
実施内容	各学校の児童生徒の実態に応じて、少人数指導を行った。児童生徒に対して、きめ細やかな指導ができるよう、授業方法等に工夫・改善を行った。		
予算/決算	令和４年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

78	道徳教育	担当課	指導課
事業概要及び今後の方向性			
道徳教育は、指導方法や指導体制の工夫及び改善を進め、児童生徒に道徳的实践力を育成するものです。 現在、市内の全小中学校・義務教育学校で指導方法や体制の工夫改善を実施しており、今後も、児童生徒一人ひとりに豊かな心を育む道徳教育の充実を図ります。			
指標		現状値（平成３０年度）	目標値（令和６年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和４年度目標値	令和４年度実績値	令和４年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	・道徳推進教師を中心に、校内研修を実施し、教科書や道徳教育資料集「春日部の道徳」などを活用した授業の充実を図ります。 ・道徳教育資料集「春日部の道徳」の見直しを図り、作成します。		
実施内容	・学校ごとに「特別の教科 道徳」の年間指導計画作成・実施 ・「春日部の道徳」の見直し・作成 ・校内研修の実施		
予算/決算	令和４年度		
	予算額	416 千円	決算額 396,000 円

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-2 生きる力を育む教育環境の整備

②確かな学力の向上

79	体育指導	担当課	指導課
事業概要及び今後の方向性			
体育指導は、指導方法の工夫及び改善を進め、体育の授業を充実するものです。 現在、市内の全小中学校・義務教育学校で指導方法の工夫改善が進められており、今後も、児童生徒一人ひとりの体力向上を図る体育授業の実践につなげていきます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
市の体力向上推進委員会の実施		市の開催回数3回	市の開催回数3回
目標値の根拠		引き続き、市の体力向上推進委員会を年間3回開催することを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
3回	3回	100.0%	A
実施予定内容	・市内全小・中・義務教育学校において、校内に「体力向上推進委員会」を設置し、指導方法の工夫及び改善を進め、体育の授業の充実を図ります。 ・「春日部市体力向上推進委員会」を年3回実施し、市としての課題把握と解決のための協議、情報の共有を図ります。		
実施内容	・市内全小・中・義務教育学校において、校内に「体力向上推進委員会」を設置し、指導方法の工夫及び改善を進め、児童生徒の体力向上・健康教育の推進を行いました。 ・「春日部市体力向上推進委員会」を年3回実施し、市としての課題把握と解決のための協議、情報の共有を図りました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

80	総合的な学習の時間	担当課	指導課
事業概要及び今後の方向性			
総合的な学習の時間は、自ら学び、自ら考え、問題を解決する学習活動を展開し、自己の生き方を考えることができる児童生徒を育成するものです。 現在、市内の全小中学校・義務教育学校で、年間計画の見直しなど、授業の工夫、改善を図っており、今後も、児童生徒の課題解決能力の育成を目指します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	34校	100.0%	A
実施予定内容	・地域の特色や学校の実態に応じて、福祉・環境、国際理解、地域交流などの学習を通して、課題解決能力の育成を図ります。 ・授業形態の工夫、関係者との連携をしながら計画的に学習を進めます。		
実施内容	・地域の特色や学校の実態に応じて、福祉・環境、国際理解、地域交流などの学習を通して、課題解決能力の育成を図った。 ・地域や行政諸機関等との連携をし、年間指導計画に基づいた学習を進めた。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

基本目標 3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-2 生きる力を育む教育環境の整備

③各分野の連携による豊かな心身の育成

81	学校評議員制度	担当課	指導課
事業概要及び今後の方向性			
学校評議員制度は、学校・家庭・地域の連携を深め、一体となって学校教育を推進するものです。 現在、市内の全小中学校・義務教育学校で制度を実施しており、今後も、学校評議員制度を活用し、学校・家庭・地域の連携を深め地域に根ざした学校教育の推進を図ります。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	・学校運営に関し、学校・家庭・地域の連携を深めるため、市内小・中学校それぞれに学校評議員を配置し、学校評議員会を実施します。 ・市内21校において、学校運営協議会委員に移行して実施します。令和5年度からは、市内全小・中・義務教育学校において、学校運営協議会委員に移行することから、学校評議員会は実施しません。		
実施内容	市内小・中学校に学校評議員会を置き、学校評議員会を実施した。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	2,425 千円	決算額 305,000 円

82	就学時健康診断	担当課	指導課
事業概要及び今後の方向性			
就学時健康診断は、就学予定者の心身の状況を把握し、保健上の必要な助言を行うとともに、適正な就学についての指導を行うものです。 今後も、学務課や各学校の連携のもと、取り組みます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	・市内小・義務教育学校において、10月または11月に令和5年度就学予定者を対象に健康診断を実施します。 ・各学校の欠席者については、市の保健センターにて健康診断を実施します。		
実施内容	・市内小・義務教育学校において、健康診断を実施した。 ・各学校の欠席者については、市の保健センターにおいて健康診断を実施した。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	1,891 千円	決算額 1,415,001 円

基本目標 3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-2 生きる力を育む教育環境の整備

③各分野の連携による豊かな心身の育成

83	スポーツ少年団事業	担当課	スポーツ推進課
事業概要及び今後の方向性			
スポーツ少年団事業は、スポーツを通じて青少年のこころとからだを育てることを目的としている、スポーツ少年団組織を支援するものです。 今後も、スポーツ少年団組織の支援を継続し、現状の団員数の維持を目指します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
登録団員数		2,098人	1,800人
目標値の根拠		少子化である事実を踏まえ、前年度比98%程度の水準を維持することを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
1,840人	1,802人	97.9%	A
実施予定内容	表彰式、運動適性テスト、リーダー育成研修会、親子スポーツのつどい、登録指導者研修会、スタートコーチ養成講習会、ミニ駅伝大会、母集団育成研修会、スポ少種目別大会、市民体育祭種目別大会		
実施内容	表彰式（式は中止。220人を表彰）、運動適性テスト（各団において実施）、リーダー育成研修会（15人）、スタートコーチ養成講習会（36人）、母集団育成研修会（13人）、スポ少種目別大会（7大会）、市民体育祭種目別大会（7大会）		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	1,677 千円	決算額 1,677,000 円

基本目標 3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-2 生きる力を育む教育環境の整備

④地域ぐるみの教育力の向上

84	家庭教育学級	担当課	中央公民館
事業概要及び今後の方向性			
家庭教育学級は、各公民館において、幼児期・小学生期・中学生期のそれぞれの保護者などを対象とした講座を実施するものです。 今後も、参加者のニーズを把握しながら、親子のより良い関係を築けるよう事業を進めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
実施地区数		8地区	8地区
目標値の根拠		引き続き、市内8地区で充実した事業を実施することを目指します。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
8地区	8地区	100.0%	A
実施予定内容	実施地区：8地区 《令和4年度目標値の考え方》 市内全8地区での実施を目標とします。		
実施内容	幼児期の家庭教育学級については、概ね、毎月の「子育てサロン」等の開催と併せて実施することができた。また、小学生期・中学生期を対象とした家庭教育学級についても、昨年度0事業に対し2事業を実施できた。 ・幼児期：10事業 のべ87回 1,519人 ・小学生期・中学生期：3事業 （3回）98人		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	292 千円	決算額 273,500 円

基本目標 3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-2 生きる力を育む教育環境の整備

⑤子どもの健全育成の推進と未来を担う人財育成の推進

85	青少年健全育成条例普及啓発活動				担当課	こども政策課	
事業概要及び今後の方向性							
青少年健全育成条例普及啓発活動は、埼玉県青少年健全育成条例及び、春日部市青少年健全育成基本条例の普及、啓発を行うものです。 今後も、普及、啓発活動を継続します。							
指標			現状値（平成３０年度）		目標値（令和６年度）		
—			—		—		
目標値の根拠			—				
令和４年度目標値		令和４年度実績値		令和４年度進捗率		評価	
—		—		—		—	
実施予定内容	青少年育成春日部市民会議や青少年育成推進協議会とともに、市及び県条例の普及・啓発活動を行います。						
実施内容	各団体事務局として、青少年育成春日部市民会議や青少年育成推進員協議会とともに、かすかべ郷土かるた大会等のイベントにて、市及び県条例の普及・啓発活動を行いました。						
予算/決算	令和４年度						
	予算額	—	千円	決算額	—	円	

86	青少年育成春日部市民会議の支援				担当課	こども政策課	
事業概要及び今後の方向性							
青少年育成春日部市民会議が、関係機関・団体と連携し実施している、環境浄化活動、家庭教育活動、青少年体験活動などを支援するものです。 今後も、組織の周知に力を入れるとともに、各団体が連携できる事業の実施を促します。							
指標			現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）		
青少年育成春日部市民会議の会員数			99人		117人		
目標値の根拠			これまでの実績から、毎年3人ずつ増やすことを目標とします。				
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価	
105人		85人		81.0%		A	
実施予定内容		・補助金の交付を行います。 ・読み聞かせ公演会、講演会、非行防止キャンペーン、青少年の地域活動の推進、「家庭の日」普及・啓発事業等、市民会議事業の支援を行います。					
実施内容		・補助金の交付を行いました。 ・読み聞かせ公演会、講演会、非行防止キャンペーン、青少年の地域活動の推進、「家庭の日」普及・啓発事業等、市民会議事業の支援を行いました。					
予算/決算		令和4年度					
		予算額	864	千円	決算額	702,084円	

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-2 生きる力を育む教育環境の整備

⑤子どもの健全育成の推進と未来を担う人財育成の推進

87	青少年育成推進員の支援				担当課	こども政策課	
事業概要及び今後の方向性							
青少年育成推進員の支援は、青少年に望ましい地域環境を作ることとを目的として、市長が委嘱した「青少年育成推進員」の活動を支援するものです。 今後も、委嘱配置目標を下回ることがないよう助言していくとともに、各推進員が問題なく活動できるよう支援します。							
指標			現状値（平成３０年度）		目標値（令和６年度）		
青少年育成推進員の人数			46人		46人		
目標値の根拠			1 小学校区あたり 2 人の推進員の配置を維持することを目標とします。				
令和４年度目標値		令和４年度実績値		令和４年度進捗率		評価	
46人		45人		97.8%		A	
実施予定内容		・ 補助金の交付を行います。 ・ 学校訪問、家庭の日普及・啓発活動、視察研修、三市合同研修会等、青少年育成推進員協議会の事業及び青少年育成推進員の地区活動の支援を行います。					
実施内容		・ 補助金の交付を行いました。 ・ 学校訪問、家庭の日普及・啓発活動、青少年育成推進員協議会の事業及び青少年育成推進員の地区活動の支援を行いました。					
予算/決算		令和４年度					
		予算額	262	千円	決算額	262,000円	

88	青少年相談員の支援				担当課	こども政策課	
事業概要及び今後の方向性							
青少年相談員の支援は、青少年のリーダーとして、埼玉県知事から委嘱されて、野外活動など青少年の体験活動の機会の提供を行っている「青少年相談員」の活動を支援するものです。 今後も、市民周知に力を入れるとともに、活動を支援します。							
指標			現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）		
青少年相談員の人数			3人		6人		
目標値の根拠			令和2年度、令和4年度、令和6年度の委嘱時に1人ずつ増やすことを目標とします。				
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価	
4人		4人		100.0%		A	
実施予定内容		・補助金の交付を行います。 ・収穫体験、青少年育成市民会議への協力活動等、青少年相談員協議会の活動の支援を行います。					
実施内容		・補助金の交付を行いました。 ・青少年相談員協議会の活動の支援を行いました。					
予算/決算		令和4年度					
		予算額	380	千円	決算額	380,000円	

基本目標 3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-2 生きる力を育む教育環境の整備

⑤子どもの健全育成の推進と未来を担う人財育成の推進

89	年少リーダー研修会	担当課	中央公民館
事業概要及び今後の方向性			
さまざまな体験を通して、強く、たくましく生きる力を持つきっかけとしてもらい、地域で活動する青少年リーダーを育てます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
事後研修を含めた延べ参加者数		378人	400人
目標値の根拠		より充実した内容で子どもたちを育成し、参加者を増やすことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
200人	132人	66.0%	B
実施予定内容	・リーダーとしての資質を高めるための体験学習を行います。 ・各地区で行われるイベント運営のスタッフとしてボランティアに参加します。 ・自分たちで子ども向けのイベントを企画・運営する（キッズフェスティバル等）。		
実施内容	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メインかつ多くの参加者数を得ていた「宿泊研修」が実施出来なかったことから、参加者が少なく、目標値の達成に至らなかった。しかし、年間の開催数は16回を数え、少数精鋭で充実した取り組みができた。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	135 千円	決算額 24,000 円

90	未来を育む奨学金（未来を担う人財育成事業）	担当課	学務課
事業概要及び今後の方向性			
学業、スポーツ、芸術等の分野は問わず、児童生徒が日頃から思い描いている挑戦したい、実現したい夢や希望に関する提案に対し奨学金を交付します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
事業提案提出件数		16件	30件
目標値の根拠		毎年度10%ずつ提案件数を増やすことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
24件	9件	37.5%	B
実施予定内容	・市の広報紙及びホームページへの掲載やチラシの配布等により提案を募集し、審査を通過した事業に対して、奨学金を交付します。 ・前年度までに採用された提案事業の取組み状況をホームページに掲載することで、事業の周知を図ります。		
実施内容	・広報かすかべ4月号に事業内容を掲載し、周知を行いました。また、事業のチラシを市内小・中・義務教育学校に配布しホームページでも告知を行いました。審査を通過した3件の新規事業と、前年度から継続している6件の事業と合わせて9件の提案事業に奨学金を交付しました。 ・提案事業の取組み状況についてホームページに掲載し、事業を周知しました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	2,310 千円	決算額 1,643,000 円

基本目標 3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-2 生きる力を育む教育環境の整備

⑤子どもの健全育成の推進と未来を担う人財育成の推進

91	英語検定料助成（未来を担う人財育成事業）				担当課	学務課
事業概要及び今後の方向性						
中学校3年生（義務教育学校後期課程3年生）を対象に英語検定料を助成し、学習意欲の向上と英語力の強化を図るものです。						
指標				現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）
英語検定料助成の申請者数				475人		1,080人
目標値の根拠				対象生徒数（約1,800人）の6割に助成することを目指す。		
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価
1,080人		699人		64.7%		B
実施予定内容		・市内公立中学校等、または市内に住所を有し、私立中学校等に在籍する中学3年生を対象に公益財団法人 日本英語検定協会が実施する英語検定の3級団体検定料を助成します。 ・市内公立中・義務教育学校を準会場とすることで受験しやすい環境を整えます。				
実施内容		・中学3年生を対象に、公立中・義務教育学校に在籍する670名の生徒と、市内に住所を有し在籍する私立中学校等で団体受験をした29名の生徒に、3級団体受験料を上限に英語検定料の助成を行いました。				
予算/決算		令和4年度				
		予算額	4,800	千円	決算額	3,159,300円

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-3 心豊かに育つ場づくり

①子どもの居場所づくりの推進

92	学習を目的とした児童への場所の提供				担当課	市民参加推進課	
事業概要及び今後の方向性							
学習を目的とした児童への場所の提供は、地域において児童が安全に過ごすことができる週末などの居場所づくりを推進するため、学習を目的とした場所の提供を行うものです。 今後も、ハーモニー春日部の情報ライブラリーにおいて学習を目的とした席を提供し、子どもの居場所を作ります。							
指標				現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
情報ライブラリー年間利用者数				3,386人		4,000人	
目標値の根拠				開館日数の増加により、利用者を増やすこと目標とします。			
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価	
900人		984人		109.3%		A	
実施予定内容		新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで、情報誌への掲載や利用促進につながるポスター掲示等を実施して利用者数の増加を図ります。 ※指定管理者制度による管理・運営のため予算額は年間の指定管理料を記入。					
実施内容		新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで、情報誌への掲載や利用促進につながるポスター掲示、新刊導入等を実施し、利用者の増加につながりました。					
予算/決算		令和4年度					
		予算額	48,698	千円	決算額	48,544,484	円

93	子育てふれあい公園リニューアル事業				担当課	公園緑地課
事業概要及び今後の方向性						
子育てふれあい公園リニューアル事業は、子どもから高齢者までの幅広い世代と一緒にふれあえるような公園の再整備を行うものです。 今後も、引き続き1～2か所/年程度の公園の再整備を目標にします。						
指標			現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
再整備公園数			10か所		21か所	
目標値の根拠			毎年度2か所ずつ再整備することを目標とします。			
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価
17か所		14か所		82.4%		B
実施予定内容		《令和4年度目標設定の考え方》 面積・地区・時間などの各要件を満たした街区公園に関し、美化協定の締結状況、地域からの要望などを踏まえ、再整備を行う公園を選出し、再整備を進めます。 《令和4年度実施予定》 武里第6公園				
実施内容		武里第6公園再整備工事 1か所				
予算/決算		令和4年度				
		予算額	22,000	千円	決算額	19,619,600円

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-3 心豊かに育つ場づくり

①子どもの居場所づくりの推進

94	放課後子ども教室（令和6年度までの実施計画）				担当課	社会教育課
事業概要及び今後の方向性						
放課後子ども教室は、すべての児童が放課後等を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動を行えるよう、地域の方々の参画を得て実施するものです。 国の「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、全小学校区で実施し、事業の拡充を図ります。また、放課後児童クラブとは、一体型としていきます。今後も、引き続き関係機関や関係部局で構成される運営委員会を設置し、余裕教室の活用や、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の連携などについて検討を行い、事業の充実を図っていきます。						
指標			現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
放課後こども教室の参加児童延べ人数			10,797人		12,000人	
目標値の根拠			これまでの実績に基づき、毎年度参加延べ人数を200人ずつ増やすことを目標とします。			
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価
11,600人		3,102人		26.7%		B
実施予定内容		余裕教室の活用や放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の連携などについて検討を行い、児童が放課後等に安心・安全に過ごし、多様な体験活動を行えるように、事業の充実を図ります。				
実施内容		新型コロナウイルス感染症の影響で一部事業を中止しましたが、手指消毒の徹底や密の回避などの感染症対策を講じて、全23校中19校で放課後子ども教室を実施しました。				
予算/決算		令和4年度				
		予算額	2,601	千円	決算額	1,189,612円

95	青少年地域活動・ボランティア活動推進事業				担当課	社会教育課
事業概要及び今後の方向性						
青少年地域活動・ボランティア活動推進事業は、児童・生徒が地域活動やボランティア活動を行い、多様な体験や活動を行う機会を通じて、自立心、主体性、協調性を育むため実施するものです。 今後も、引き続き学校や地域等と連携を図りながら、児童生徒の活動を支援するとともに、人に喜ばれる活動やよい行いに対して各小中学校・義務教育学校が評価する表彰活動を推進していきます。						
指標			現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
表彰状授与枚数			3,948枚		5,000枚	
目標値の根拠			事業周知を拡大することにより、最終年度までに3人に1人の児童生徒に、表彰状を授与することを目標とします。			
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価
4,650枚		4,203枚		90.3%		A
実施予定内容	児童・生徒が、自立性、主体性、協調性を育むために行う、多様な地域活動・体験活動への参加機会を設けるために、児童・生徒に対して情報提供を行うとともに、ボランティア手帳や表彰状用紙を配布します。					
実施内容	市内小中学校及び義務教育学校にボランティア手帳及び表彰状用紙を配布することにより、児童・生徒が、自立心・主体性・協調性を育むために行う多様な体験活動に参加する機会を設けることができました。					
予算/決算	令和4年度					
	予算額	84	千円	決算額	52,800	円

基本目標 3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-3 心豊かに育つ場づくり

①子どもの居場所づくりの推進

96	子どもを対象とするスポーツ教室などの実施事業				担当課	スポーツ推進課	
事業概要及び今後の方向性							
子どもを対象とするスポーツ教室などの実施事業は、親の交流拠点、子どもの居場所・遊び場づくりの観点から、子どもやその保護者が参加できる事業を計画し、実施するものです。 今後も、開催曜日や定員などを考慮し、子どもやその保護者が参加したいと思える教室、イベントなどの事業を計画することで、参加人数の増加を図り、更なるスポーツ・レクリエーションの振興に努めます。							
指標				現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
子どもが参加できるスポーツ教室などの参加者数				23,723人		25,000人	
目標値の根拠				毎年度200人ずつ増やすことを目標とします。			
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価	
24,600人		2,637人		10.7%		B	
実施予定内容		親子スポーツ教室、楽しくドッジボール教室、楽しく軽スポーツ体験教室、市民体育祭地区大会、地域巡回スポーツ教室、健康づくりのつどい、健康スポ・レクフェスタ、出前講座、ベースボールクリニック、プロスポーツイベント					
実施内容		親子スポーツ教室（199人）、楽しくドッジボール教室（156人）、楽しく軽スポーツ体験教室（95人）、地域巡回スポーツ教室（370人）、健康づくりのつどい（962人）、健康スポ・レクフェスタ（124人）、出前講座（388人）、ベースボールクリニック（128人）、プロスポーツイベント：春スポふれんず2022（63人）、フラバレーボール交流大会（152人）					
予算/決算		令和4年度					
		予算額		8,377	千円	決算額	

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-3 心豊かに育つ場づくり

②地域の活動・交流拠点づくり

97	児童館運営事業	担当課	こども政策課
事業概要及び今後の方向性			
児童館運営事業は、児童の健全育成を図るため、ボランティア・地域と連携しながら、多様な事業を展開し、親の交流拠点、子どもの居場所・遊び場づくりとしての充実及び整備に努めます。 今後も、子育て支援施設の中心として、児童館3館それぞれの特色をいかした運営を進めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
児童センター利用者の満足度		96.9%	98.0%
目標値の根拠		最終年度までに、1ポイント向上させることを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
97.6%	98.5%	100.9%	A
実施予定内容	ボランティア・地域と連携しながら子育て支援施設の中心として、児童館3館それぞれの特色を活かした運営を進めます。		
実施内容	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用人数や利用時間に制限を設けながら運営していましたが、10月1日から制限を解除し、通常運営といたしました。 ・春日部第1児童センター(エンゼル・ドーム):親子クッキング、出張児童館等 年間来館者69,141人 ・春日部第2児童センター(グーカすかべ):県民の日特別イベント、グーカす横丁等 年間来館者35,878人 ・庄和児童センター(スマイルしょうわ):壁面製作、お米の収穫体験等 年間来館者39,653人		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	182,653 千円	決算額 218,079,532 円

98	ハーモニーフェスタ	担当課	市民参加推進課
事業概要及び今後の方向性			
ハーモニーフェスタは、ハーモニー春日部において、男女共同参画に関するワークショップの開催のほか子育て支援や子ども主体のワークショップなど、多種多様な催しなどを年1回数日間にわたり開催するものです。 今後も、より多くの参加者を得るため積極的に広報活動を実施します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
参加者数		4,051人	5,000人
目標値の根拠		広報活動を拡大することにより、参加者を増やすことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
550人	527人	95.8%	A
実施予定内容	11月の女性に対する暴力をなくす週間に合わせて開催します。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度も完全予約制で実施します。 利用団体公開活動、市民企画ワークショップ、実行委員会企画、キッズプログラム、展示等を行って男女共同参画に関する様々な情報を提供します。 ※指定管理者制度による管理・運営のため予算額は年間の指定管理料を記入。		
実施内容	基調講演、ビデオ上映、こどもと作る料理教室や親子で楽しめる科学教室等のイベントを行い、より多くの方にハーモニー春日部を知っていただくとともに男女共同参画に関する様々な情報を提供しました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	48,698 千円	決算額 48,544,484 円

基本目標 3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-3 心豊かに育つ場づくり

②地域の活動・交流拠点づくり

99	かすかべ郷土かるた大会	担当課	こども政策課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性			
かすかべ郷土かるた大会は、かすかべ郷土かるたを使用し、青少年の交流及び郷土に対する意識の高まりを図るものです。 今後も、地域や関係機関、協力団体と連携し、青少年の健全育成活動を支援しながら、大会の充実を図ります。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
参加者数		750人	768人
目標値の根拠		大会の広報周知に努め、毎年度3人（1チーム）増やすことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
96人	95人	99.0%	A
実施予定内容	・新型コロナウイルス感染防止策を講じ、青少年が安全に競技が行える環境を整備し、仲間づくりの更なる広がりを進めます。 ・参加者を市内在住または在学の小学校、義務教育学校5・6年生と限定し、参加チーム数32チーム（96名）を上限とします。申込多数の場合は抽選とします。		
実施内容	・新型コロナウイルス感染防止策を講じ、大祭参加者及びボランティアスタッフが安全に参加及び大会運営に協力できる環境を整備し進めました。 95人（33チーム）の参加		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	80 千円	決算額 36,700 円

99	かすかべ郷土かるた大会	担当課	こども政策課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性			
かすかべ郷土かるた大会は、かすかべ郷土かるたを使用し、青少年の交流及び郷土に対する意識の高まりを図るものです。 今後も、地域や関係機関、協力団体と連携し、青少年の健全育成活動を支援しながら、大会の充実を図ります。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
参加者数		750人	768人
目標値の根拠		大会の広報周知に努め、毎年度3人（1チーム）増やすことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
96人	95人	99.00%	A
実施予定内容	・新型コロナウイルス感染防止策を講じ、青少年が安全に競技が行える環境を整備し、仲間づくりの更なる広がりを進めます。 ・参加者を市内在住または在学の小学校、義務教育学校5・6年生と限定し、参加チーム数32チーム（96名）を上限とします。申込多数の場合は抽選とします。		
実施内容	・新型コロナウイルス感染防止策を講じ、大祭参加者及びボランティアスタッフが安全に参加及び大会運営に協力できる環境を整備し進めました。 95人（33チーム）の参加		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	80 千円	決算額 36,700 円

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-3 心豊かに育つ場づくり

②地域の活動・交流拠点づくり

100	オンライン土器作り教室	担当課	文化財保護課
事業概要及び今後の方向性			
土器作り教室は、親子参加の土器作り教室で、制作過程を通じて縄文時代の生活を体験すると同時に、親子のコミュニケーションを図るものです。 今後も、年1回の事業を継続することにより、親子が交流できる場を提供することを目標とします。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
実施回数		1回	1回
目標値の根拠		毎年度1回実施することを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
1回	1回	100.0%	A
実施予定内容	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各家庭で土器作り動画を参照し、土器作り体験を行います。		
実施内容	予定通り実施し、23組45人の参加がありました。アンケートの結果では、「満足」、「やや満足」が97.1%を占めました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

101	体験講座（夏季講座も含む）	担当課	文化財保護課
事業概要及び今後の方向性			
体験講座（夏季講座も含む）は、わらじやしめ縄作りなど、昔ながらのものを親子で一緒に製作して、共通の体験の場を提供するものです。 今後も、引き続きさらに親子が参加しやすい状況に対応できるよう、講座内容を検討します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
実施回数		4回	5回
目標値の根拠		講座の内容に考古学など新たな分野を加えることにより、実施回数を増やすことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
5回	8回	160.0%	A
実施予定内容	《令和4年度目標値設定の考え方》実施回数は他の講座の開催日数を考慮して算出。 《令和4年度の実施予定》体験講座として、ミニぞうり作り、桐の貯金箱づくり、dokidoki音楽づくり、凧作り教室、しめ縄作りを計5回行います。 《その他》自由参加の体験ワークショップを12回予定しています。また、夏季企画展示に即した子供向けの講座「めざせ！キッズ学芸員」を開催します。		
実施内容	体験講座としてミニぞうり作り・桐の貯金箱づくり・dokidoki音楽づくりを各1回、凧作り教室・しめ縄作りを各2回行い、また夏季企画展示に関連した「めざせ！キッズ学芸員」も体験講座と位置づけて開催したため、計8回、延べ157人の参加となりました。 体験ワークショップは実施予定通り開催し、計12回、延べ91人の参加がありました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

基本目標３ 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり ３－３ 心豊かに育つ場づくり

②地域の活動・交流拠点づくり

102	各種体験教室や学習講座の実施				担当課	中央公民館	
事業概要及び今後の方向性							
各種体験講座や学習講座の実施は、各公民館において、子どもたちの価値観の多様化に対応するため、さまざまな体験活動や学習の機会を提供するものです。 今後も、事業内容やPR方法を工夫し、より社会性豊かな人間性を育むことができる体験活動や学習の機会を提供します。							
指標				現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
実施か所数				13館		16館	
目標値の根拠				最終年度までに、市内16館すべてで事業を実施することを目標とします。			
令和4年度目標値		令和4年度実績値					
16館		13館		令和4年度進捗率		評価	
				81.3%		A	
実施予定内容		季節や地域の実情に応じた様々な体験事業を実施します。 子ども向け体験講座（キッズフェスティバル、ふれあい教室等）、子ども会との共催事業、化学教室、星空観察などの体験事業を行います。					
実施内容		各地区において、市民講師や関係機関等の協力を得て実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり開催できなかった事業もあるが、延べ100回に迫る講座数を実施でき、4,200人を超える参加者数となった。第二館での開催には至らない地区もあったことから、開催館数としては13館にとどまった。					
予算/決算		令和4年度					
		予算額	753	千円	決算額	330,900円	

103	子どもの読書活動推進				担当課	社会教育課	
事業概要及び今後の方向性							
図書館は、地域における本や読書の専門機関であり、子どもの読書活動を推進するための運営を実施します。							
指標				現状値（平成３０年度）		目標値（令和６年度）	
児童書貸出冊数				315,658冊		352,000冊	
目標値の根拠				年間3,300冊（増加率１％）			ずつ増やすことを目標とします。
令和４年度目標値		令和４年度実績値		令和４年度進捗率		評価	
345,400冊		311,542冊		90.2%		A	
実施予定内容		①児童書の充実・整備、②読書環境の整備（児童展示コーナーの充実、中高生向けのコーナーの充実）、③子どもの図書館利用者を対象にしたアンケート調査、④学校等との連携・協力（団体貸出、学校おはなし会、ブックトーク）、⑤図書館を使った調べる学習コンクール（中央・武里・庄和 各図書館）7～9月、⑥子ども司書講座（中央・武里・庄和 各図書館）、⑦ぬいぐるみおとまり会（中央・武里・庄和 各図書館）、⑧夏休み読書マラソン（中央・武里・庄和 各図書館）8月1日～8月31日、⑨本の福袋（中央・武里・庄和 各図書館）					
実施内容		①、②、④は通年実施しました。図書館3館では、③「子どもの図書館利用者を対象にしたアンケート調査」を7月に、⑧「夏休み読書マラソン」を8月中に、⑨「本の福袋」を1月に実施しました。⑤「図書館を使った調べる学習コンクール」は7～9月に実施し、上位入賞作品を全国コンクールに応募しました。⑥「子ども司書講座」を中央図書館は2月、武里図書館は11月、庄和図書館は8月に実施しました。⑦「ぬいぐるみおとまり会」を中央図書館は3月、庄和図書館は2月に実施しました。					
予算/決算		令和４年度					
		予算額	—	千円	決算額	—	円

②地域の活動・交流拠点づくり

104	おはなし会				担当課	社会教育課	
事業概要及び今後の方向性							
おはなし会は、本と子どもを結びつけるため、ストーリーテリングや絵本の読み聞かせを行うものです。今後も、ボランティアと連携して実施します。							
指標				現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
—				—		—	
目標値の根拠				—			
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価	
—		—		—		—	
実施予定内容		①おはなし会 小さい子（4歳から9歳／中央・武里・庄和 各図書館）毎週土曜日 大きい子（小学生／中央・武里・庄和 各図書館）第2・4土曜日 ②夏休み親子おはなし会 小さい子（4歳から9歳とその保護者／中央・武里・庄和 各図書館）夏休み期間中の毎週土曜日 大きい子（小学生とその保護者／中央・武里・庄和 各図書館）夏休み期間中の第2・4土曜日					
実施内容		図書館3館で、年齢別や季節に合わせたおはなし会を実施し、ストーリーテリングや絵本の読み聞かせを通して、子どもの自主的な読書活動と心の成長を図りました。					
予算/決算		令和4年度					
		予算額	—	千円	決算額	—	円

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-3 心豊かに育つ場づくり

③世代を超えた交流の推進

105	三世代交流事業				担当課	高齢者支援課	
事業概要及び今後の方向性							
三世代交流事業は、春日部市いきいきクラブ連合会に委託して、地域ごとに高齢者と子ども、その親の三世代が軽スポーツやゲームなどのさまざまな活動を通して交流を図るものです。また、いきいきクラブ連合会の事業として、エンゼル・ドームなどに高齢者が訪問し、子どもたちと交流しながら子育て支援を行うものです。 今後も、引き続き同様に実施します。							
指標			現状値（平成３０年度）		目標値（令和６年度）		
参加人数			7,769人		11,600人		
目標値の根拠			過去の実績を考慮し、参加者を増やすことを目標とします。				
令和４年度目標値		令和４年度実績値		令和４年度進捗率		評価	
2,500人		6,541人		261.6%		A	
実施予定内容		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえ、安全に事業を実施できるクラブを増加させることを目指します。各地域ごとに高齢者と子ども、その親の三世代が軽スポーツやゲームなどのさまざまな活動を通して交流を図ります。また、いきいきクラブ連合会の事業として、子どもたちと交流しながら子育て支援を行っていきます。					
実施内容		令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行い、屋外でできるラジオ体操等を実施して交流を図りました。					
予算/決算		令和４年度					
		予算額	1,020	千円	決算額	660,000円	

106	三世代交流スポーツフェスティバル				担当課	中央公民館	
事業概要及び今後の方向性							
地域に根ざしたスポーツの普及・促進及び市民の健康増進を図るとともに、三世代のきずなを深めます。							
指標			現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）		
参加者数			450人		495人		
目標値の根拠			最終年度までに、参加者を10%増やすことを目標とします。				
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価	
470人		260人		55.3%		B	
実施予定内容		講師・協力者等を招いて行うスポーツ体験教室 スポーツギネス大会 体力測定 豊野地区体育振興会推進委員所属団体によるスポーツ体験コーナー					
実施内容		「気功による呼吸法と、足もみによる血液循環法」、「スポーツギネス大会」、「体力測定」などを新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら実施した。3年振りの開催となった。					
予算/決算		令和4年度					
		予算額	—	千円	決算額	—	円

③世代を超えた交流の推進

107	ふれあい大学における小学校連携事業				担当課	高齢者支援課	
事業概要及び今後の方向性							
ふれあい大学における小学校連携事業は、ふれあい大学の講座の一環として、児童と高齢者との交流を図ることにより世代間の相互理解を深め、高齢者の豊かな知識と経験を伝承していく小学校連携講座を実施するものです。 今後も、交流を続け、互いの理解を深めていけるような事業を実施します。							
指標				現状値（平成３０年度）		目標値（令和６年度）	
参加人数				367人		410人	
目標値の根拠				ふれあい大学生（160人）、同期会（20人）、１～２年生（200人）、なかよし学級（30人）に増やすことを目標とします。			
令和４年度目標値		令和４年度実績値		令和４年度進捗率		評価	
—		—		—		—	
実施予定内容		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しません。					
実施内容		実施なし					
予算/決算		令和４年度					
		予算額		—	千円	決算額	

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-3 心豊かに育つ場づくり

④つながりの輪づくり

108	地域交流会	担当課	保育課
事業概要及び今後の方向性			
地域交流会は、公立保育所の施設を開放し、就学前の子どもと保護者に遊び場の提供と入所児童との交流を通して、子育てを応援するものです。 今後も、引き続き内容の見直しや変更などを行い、参加人数の増加に努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
参加人数		2,146人	2,400人
目標値の根拠		毎年度、2%ずつ参加人数を増やすことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
2,400人	234人	9.8%	B
実施予定内容	公立保育所において地域の未就学児と入所児童とがふれあう機会となる地域交流会を実施します。		
実施内容	実施回数 15回 参加人数 234人 園庭開放		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

109	子育て意識啓発ポスターなどの掲示	担当課	市民参加推進課
事業概要及び今後の方向性			
子育て意識啓発ポスターなどの掲示は、館内外の掲示物を利用し、虐待防止や父親の育児参加を促すポスターなどにより、子育て意識の啓発をするものです。 今後も、国や県などで作成した子育てなどの啓発ポスターを掲示し、より積極的に啓発活動を実施します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
掲示回数		10回	12回
目標値の根拠		国や県などで作成した子育てなどの啓発ポスター掲示の実績を維持することを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
5回	—	—	—
実施予定内容	ハーモニー春日部のエントランスホールに子育て意識の啓発、児童虐待防止のポスター、チラシ等を掲示します。 ※指定管理者制度による管理・運営のため予算額は年間の指定管理料を記入。		
実施内容	依頼されたポスター、チラシ、配布物を掲示及び配架し来館者へ啓発をしました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	48,698 千円	決算額 48,544,484 円

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-3 心豊かに育つ場づくり

④つながりの輪づくり

110	子育てサロン	担当課	生活支援課 こども相談課 中央公民館
事業概要及び今後の方向性			
子育てサロンは、総合福祉センター（あしすと春日部）、武里市民センターや公民館などの公共施設において、子育て中の親子が集う場で、簡単な遊びを通じて参加者の交流を図るものです。 今後も、引き続き事業の周知を図り、それぞれの特色をいかした事業展開を進めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
実施回数（あしすと春日部・武里市民センター）		24回	24回
目標値の根拠		あしすと春日部、武里市民センターにおいて、引き続き月1回ずつ開催していくことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
24回	20回	83.3%	A
実施予定内容	総合福祉センター（あしすと春日部） 月1回 計12回 武里市民センター 月1回 計12回		
実施内容	・あしすと春日部 10回実施 ・武里市民センター 10回実施 （新型コロナウイルスの感染拡大防止のため一部中止）		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

110	子育てサロン	担当課	生活支援課 こども相談課 中央公民館
事業概要及び今後の方向性			
子育てサロンは、総合福祉センター（あしすと春日部）、武里市民センターや公民館などの公共施設において、子育て中の親子が集う場で、簡単な遊びを通じて参加者の交流を図るものです。 今後も、引き続き事業の周知を図り、それぞれの特色をいかした事業展開を進めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
実施回数（あしすと春日部・武里市民センター）		24回	24回
目標値の根拠		あしすと春日部、武里市民センターにおいて、引き続き月1回ずつ開催していくことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
24回	20回	83.3%	A
実施予定内容	育児中の親子を対象に簡単な遊びを通じて参加者の交流を図るとともに、主任児童委員や助産師、家庭児童相談員等との相談により、育児不安やストレス等の解消を図ります。また、広報かすかべ、市ホームページ、チラシ等で周知します。		
実施内容	実施回数 あしすと春日部10回、武里市民センター10回 なお、定員を設けて予約制としました。 （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部中止しました。）		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	115 千円	決算額 95,000 円

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-3 心豊かに育つ場づくり

④つながりの輪づくり

110	子育てサロン	担当課	生活支援課 こども相談課 中央公民館
事業概要及び今後の方向性			
子育てサロンは、総合福祉センター（あしすと春日部）、武里市民センターや公民館などの公共施設において、子育て中の親子が集う場で、簡単な遊びを通じて参加者の交流を図るものです。 今後も、引き続き事業の周知を図り、それぞれの特色をいかした事業展開を進めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
実施回数（公民館）		95回	95回
目標値の根拠		現状のとおり、各地区において充実した内容で事業を展開していくことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
95回	95回	100.0%	A
実施予定内容	実施地区：8地区 《令和4年度目標値の考え方》 市内全8地区での実施を計画し、目標とする実施回数となるよう事業を実施します。		
実施内容	通常、毎月1回開催しており、おおむね継続的な開催ができた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施出来ない月もあったが、目標値に達する成果となった。 ・延べ95回 1,622人参加		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	130 千円	決算額 143,500 円

111	赤ちゃんの駅	担当課	こども政策課
事業概要及び今後の方向性			
赤ちゃんの駅は、乳幼児がいる保護者の子育てを支援する取組の一環として、外出中の親子が、授乳やおむつ替えが必要になったときに、気軽に立ち寄れるような場所を提供するため、公共施設や民間施設を登録しているものです。 今後も、引き続き制度や設置場所の周知を図り、民間施設の登録数の増加を促進します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
登録施設数		72施設	79施設
目標値の根拠		毎年度1施設ずつ増やすことを目標とします。	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
77施設	78施設	101.3%	A
実施予定内容	・広報紙や市ホームページ、市公式SNS等で、施設の周知を図ります。 ・市内事業者に積極的な周知を図ります。		
実施内容	広報紙や市公式ホームページ等で積極的に周知しました。 「赤ちゃんの駅」登録施設数78施設		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

基本目標 3 すべての子どもと子育て家庭が安心して暮らせるまちづくり
3-4 放課後の安心・安全な居場所づくり

①新・放課後子ども総合プランの推進

113	一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室（令和6年度に達成されるべき目標事業量）				担当課	保育課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性						
一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室は、同一の小学校内等で両事業を実施し、共働き家庭等の児童を含めたすべての児童が放課後子ども教室の活動プログラムに参加できるものです。 本市ではすべての小学校（義務教育学校前期課程を含む）で一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室が実施されていることから、今後においては、実施回数の増加や各種活動プログラムの充実を図ることにより、安心・安全な居場所の確保を進めます。						
指標				現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）	
放課後子ども教室の参加児童延べ人数のうち放課後児童クラブ入室児童の割合				21.5%	24.0%	
目標値の根拠				放課後子ども教室の内容充実を図り、最終年度までに4人に1人の児童が参加することを目標とします。		
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価
23.4%		26.2%		112.0%		A
実施予定内容		放課後子ども教室実行委員会において情報交換・情報共有を図ります。また、各放課後子ども教室の運営支援を行うことにより、実施回数の増加や各種活動プログラムの充実を図ります。				
実施内容		各学校の放課後児童クラブ支援員及び放課後子ども教室の担当者が、参加児童についての情報共有を図り、放課後児童クラブの入室児童が放課後子ども教室に参加しやすい環境となるよう配慮しました。				
予算/決算		令和4年度				
		予算額	—	千円	決算額	—

113	一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室（令和6年度に達成されるべき目標事業量）				担当課	保育課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性						
一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室は、同一の小学校内等で両事業を実施し、共働き家庭等の児童を含めたすべての児童が放課後子ども教室の活動プログラムに参加できるものです。 本市ではすべての小学校（義務教育学校前期課程を含む）で一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室が実施されていることから、今後においては、実施回数の増加や各種活動プログラムの充実を図ることにより、安心・安全な居場所の確保を進めます。						
指標				現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）	
放課後子ども教室の参加児童延べ人数のうち放課後児童クラブ入室児童の割合				21.5%	24.0%	
目標値の根拠				放課後子ども教室の内容充実を図り、最終年度までに4人に1人の児童が参加することを目標とします。		
令和4年度目標値		令和4年度実績値		令和4年度進捗率		評価
23.4%		26.2%		112.0%		A
実施予定内容		放課後子ども教室実行委員会において情報交換・情報共有を図ります。また、各放課後子ども教室の運営支援を行うことにより、実施回数の増加や各種活動プログラムの充実を図ります。				
実施内容		各学校の放課後児童クラブ支援員及び放課後子ども教室の担当者が、参加児童についての情報共有を図り、放課後児童クラブの入室児童が放課後子ども教室に参加しやすい環境となるよう配慮しました。				
予算/決算		令和4年度				
		予算額	—	千円	決算額	—

基本目標 3 すべての子どもと子育て家庭が安心して暮らせるまちづくり
3-4 放課後の安心・安全な居場所づくり

①新・放課後子ども総合プランの推進

115	放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の一体的な又は連携による実施に関する具体的な方策	担当課	保育課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性			
本市の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室は、一体型での実施がされており、両事業への参加がしやすい環境になっています。 また、各放課後子ども教室の実行委員会の委員として放課後児童支援員が参加しているほか、子ども教室事業の運営方法等に関し必要な意見交換を行う「春日部市放課後子ども教室運営委員会」の委員（関係行政職員）として放課後児童クラブ担当職員が参加し、積極的な情報交換・情報共有に努めています。 引き続き、情報交換・情報共有に努めるとともに、それぞれの事業が行うプログラムの企画段階から相互に意見交換できる場を設けるなど、放課後児童クラブの指定管理者も含め、両事業の児童が交流できるような連携を進めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	放課後子ども教室実行委員会において情報交換・情報共有を図ります。また、各放課後子ども教室の運営支援を行うことにより、実施回数の増加や各種活動プログラムの充実を図ります。		
実施内容	各関係部署において連携し、コロナ禍でも開催できることとしてオンラインを利用し、SDGsをテーマとしたクイズを行い、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の両事業の充実を図ることができました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

115	放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の一体的な又は連携による実施に関する具体的な方策	担当課	保育課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性			
本市の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室は、一体型での実施がされており、両事業への参加がしやすい環境になっています。 また、各放課後子ども教室の実行委員会の委員として放課後児童支援員が参加しているほか、子ども教室事業の運営方法等に関し必要な意見交換を行う「春日部市放課後子ども教室運営委員会」の委員（関係行政職員）として放課後児童クラブ担当職員が参加し、積極的な情報交換・情報共有に努めています。 引き続き、情報交換・情報共有に努めるとともに、それぞれの事業が行うプログラムの企画段階から相互に意見交換できる場を設けるなど、放課後児童クラブの指定管理者も含め、両事業の児童が交流できるような連携を進めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	放課後子ども教室実行委員会において情報交換・情報共有を図ります。また、各放課後子ども教室の運営支援を行うことにより、実施回数の増加や各種活動プログラムの充実を図ります。		
実施内容	各関係部署において連携し、コロナ禍でも開催できることとしてオンラインを利用し、SDGsをテーマとしたクイズを行い、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の両事業の充実を図ることができました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

基本目標 3 すべての子どもと子育て家庭が安心して暮らせるまちづくり
3-4 放課後の安心・安全な居場所づくり

①新・放課後子ども総合プランの推進

116	小学校の余裕教室等の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室への活用に関する具体的な方策	担当課	保育課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性			
児童数の減少により今後5年間以内に普通教室として使用されることがないと考えられる教室（余裕教室等）を、児童の放課後等の安心・安全な居場所や活動場所として確保するものです。 各学校の余裕教室等の使用計画等について、地域の実状に応じ関係者も交えた協議を進めるとともに、既に活用されている余裕教室等についても、関係者間の理解を深めつつ、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室への利用に向けた協議を進めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	放課後子ども教室において活動プログラムや参加人数に合わせて各学校の特別教室や体育館等で実施することにより、児童の安心・安全な活動場所を確保します。		
実施内容	各学校の施設利用状況を把握した上で、協力を依頼し、活動内容に合わせた適切な場所を各学校から提供していただきました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

116	小学校の余裕教室等の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室への活用に関する具体的な方策	担当課	保育課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性			
児童数の減少により今後5年間以内に普通教室として使用されることがないと考えられる教室（余裕教室等）を、児童の放課後等の安心・安全な居場所や活動場所として確保するものです。 各学校の余裕教室等の使用計画等について、地域の実状に応じ関係者も交えた協議を進めるとともに、既に活用されている余裕教室等についても、関係者間の理解を深めつつ、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室への利用に向けた協議を進めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	放課後子ども教室において活動プログラムや参加人数に合わせて各学校の特別教室や体育館等で実施することにより、児童の安心・安全な活動場所を確保します。		
実施内容	各学校の施設利用状況を把握した上で、協力を依頼し、活動内容に合わせた適切な場所を各学校から提供していただきました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

基本目標 3 すべての子どもと子育て家庭が安心して暮らせるまちづくり
3-4 放課後の安心・安全な居場所づくり

①新・放課後子ども総合プランの推進

117	放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の実施に係る関係部門の具体的な連携に関する方策	担当課	保育課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性			
放課後児童クラブを所管する市長部局と、学校や放課後子ども教室を所管する教育委員会との間で、両事業の実施状況や課題などについて、定期的な協議の場を設けるものです。 各事業の運営方法や施設整備の方針などについて適宜、協議・調整を行うとともに、総合教育会議などの協議・意見交換の機会を活用し、両事業における情報の把握と課題の解決に努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	放課後子ども教室運営委員会を実施することにより、放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携状況や課題について情報共有を行い教室運営の充実を図ります。		
実施内容	放課後子ども教室委員からの貴重な意見を踏まえ、さらに充実した教室運営ができるよう方向性を検討できました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	—	千円 決算額 — 円

117	放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の実施に係る関係部門の具体的な連携に関する方策	担当課	保育課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性			
放課後児童クラブを所管する市長部局と、学校や放課後子ども教室を所管する教育委員会との間で、両事業の実施状況や課題などについて、定期的な協議の場を設けるものです。 各事業の運営方法や施設整備の方針などについて適宜、協議・調整を行うとともに、総合教育会議などの協議・意見交換の機会を活用し、両事業における情報の把握と課題の解決に努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	放課後子ども教室運営委員会を実施することにより、放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携状況や課題について情報共有を行い教室運営の充実を図ります。		
実施内容	放課後子ども教室委員からの貴重な意見を踏まえ、さらに充実した教室運営ができるよう方向性を検討できました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	—	千円 決算額 — 円

基本目標 3 すべての子どもと子育て家庭が安心して暮らせるまちづくり
3-4 放課後の安心・安全な居場所づくり

①新・放課後子ども総合プランの推進

118	特別な配慮を必要とする児童への対応に関する方策	担当課	保育課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性			
虐待やいじめを受けた児童や、言語能力が十分でない児童など特別な配慮を必要とする児童が安心して過ごすことができる放課後の居場所の確保について検討するものです。 学校や家庭との密接な連携を図るとともに、当該児童の状況等を学校関係者と放課後児童クラブ及び放課後子ども教室との間で相互に話し合い、必要に応じ、専門機関や関係機関と連携し、児童の放課後等の安心・安全な居場所や活動場所の確保を図り、児童の育成支援及び療育を進めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	学校関係者と放課後児童支援員及び放課後子ども教室とで相互に綿密な連携を図ることで、虐待やいじめの状況を把握するように努め、専門機関とも連携し、児童の安心・安全な居場所の確保を図ります。		
実施内容	放課後児童支援員が気になる様子などがあった際には、学校での様子や対応方法の確認したり、関係部署に情報提供することで連携することができました。また、発達障害のある児童などについては、保護者との面談などをしながら必要な対応を確認実行できました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

118	特別な配慮を必要とする児童への対応に関する方策	担当課	保育課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性			
虐待やいじめを受けた児童や、言語能力が十分でない児童など特別な配慮を必要とする児童が安心して過ごすことができる放課後の居場所の確保について検討するものです。 学校や家庭との密接な連携を図るとともに、当該児童の状況等を学校関係者と放課後児童クラブ及び放課後子ども教室との間で相互に話し合い、必要に応じ、専門機関や関係機関と連携し、児童の放課後等の安心・安全な居場所や活動場所の確保を図り、児童の育成支援及び療育を進めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	学校関係者と放課後児童支援員及び放課後子ども教室とで相互に綿密な連携を図ることで、虐待やいじめの状況を把握するように努め、専門機関とも連携し、児童の安心・安全な居場所の確保を図ります。		
実施内容	放課後児童支援員が気になる様子などがあった際には、学校での様子や対応方法の確認したり、関係部署に情報提供することで連携することができました。また、発達障害のある児童などについては、保護者との面談などをしながら必要な対応を確認実行できました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

基本目標 3 すべての子どもと子育て家庭が安心して暮らせるまちづくり
3-4 放課後の安心・安全な居場所づくり

①新・放課後子ども総合プランの推進

119	地域の実情に応じた放課後児童クラブの保育時間の延長に係る取組	担当課	保育課
事業概要及び今後の方向性			
現在、放課後から19時まで（土曜日や夏休みなどは7時30分から19時まで）となっている放課後児童クラブの開所時間の延長について、検討するものです。 平成31年4月から保育時間を18時30分から19時に延長し、保育サービスの向上を図っておりますが、今後においても、利用者ニーズや延長の効果などを総合的に勘案し、本市の実情に応じた開所時間を定めていきます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	保育時間の延長について、アンケート調査などで利用者のニーズを把握していきます。		
実施内容	指定管理者が実施したアンケートでは、開所時間について変更等を求める意見はありませんでしたが、保護者の働き方の多様化の動向やニーズの把握に努め、適切な保育時間を検討していきます。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

120	放課後児童クラブの役割をさらに向上させていくための方策と、利用者や地域住民への周知を推進させるための方策	担当課	保育課
事業概要及び今後の方向性			
放課後児童クラブが有する「子どもの主体性を尊重し、子どもの健全な育成を図る」という役割を踏まえ、子どもの自主性や社会性などのより一層の向上を目指すとともに、放課後児童クラブにおける育成支援の内容について、利用者や地域住民への周知を図っていくものです。 放課後児童クラブが有する役割をさらに向上させていくため、基本的な生活習慣や異年齢児童等との交わり等を通じた社会性の取得、発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができる「遊びの場」、「生活の場」として、民間サービス等を活用したさまざまな事業の実施や利用者ニーズを捉えたサービスを提供します。また、クラブ活動において、地域の方の協力を得た行事を実施するなど、地域とも連携を取った育成支援を行うことで、利用者や地域住民への周知を図ります。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	指定管理者と協力し、地域住民を交えた様々な事業を企画し、放課後児童クラブ内で実施することで、放課後児童クラブの役割の向上を図ります。		
実施内容	昔遊びなど、地域の方の協力を得たイベント開催の周知や放課後児童クラブの運営を充実させることでクラブの役割の向上を図りました。		
予算/決算	令和4年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円